

事務事業名	市道後谷連絡線改良事業		所属部	建設部	所属課	建設事業課
政策名	総合計画体系	(Ⅱ)環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり《定住環境》	所属G	工務グループ	課長名	森田 一
施策名		(07)道路網の整備	担当者名	高橋 健	電話番号(内線)	0854-40-1063
基本事業名	(018)生活道路の新設・整備	予算科目	会計	款	項	目
			01	40	10	1503

1 現状把握の部

(1)事業概要

①事業期間	②事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度~年度)	市道後谷連絡線は、一般県道吉田掛合インター線と吉田町菅谷地区を結ぶ路線です。本路線は、高速自動車国道尾道松江線開設工事の際に工事用道路として新設された路線で、高速道路工事完了後に雲南市へ移管されることとなっております。よって、市道として管理する上で必要な、舗装及び防護柵を設置する工事を実施するものです。	・高速道路建設に伴い、工事用道路として国土交通省で設置された。 ・市道として移管されることとなり、管理上必要な構造物等の設置が必要となった。

(2)トータルコスト

①事業費の内訳(概要)	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	全体計画
工事請負費 8,999千円 その他経費 1千円 合計 9,000千円	事業内訳						
	国庫支出金	千円					
	県支出金	千円					
	地方債	千円		9,000			
	その他	千円					
	一般財源	千円					
	事業費計(A)	千円	0	0	9,000	0	0
②延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	正規職員従事人数	人			2		
国土交通省との調整事務及び工事施工に関する業務(①工事を発注する。②関係者に対し説明を行う。(工事説明会))	延べ業務時間	時間			600		
	人件費計(B)	千円	0	0	2,365	0	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	11,365	0	0

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動) 調整業務(国交省・地元) 道路改良・舗装 24年度計画(24年度に計画している主な活動) H23年度単年度事業。	⑤ 活動指標							
		ア 改良延長	m			320			
		イ 供用開始延長	m			320			
		ウ 工程調整会議	回			1			
		エ 地元説明会	回			1			
		オ							

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	生活道路の利用者	⑥ 対象指標							
		ア 雲南市人口	人			41159			
		イ							
上位目的	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標							
	安全にすれ違いができ、スムーズに通行できるようにする。	ア 改良済延長	m			320			
		イ 供用済延長	m			320			
		ウ							
上位目的	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標							
	安全で迅速に移動できるようにする。	ア 市道改良率	%			55.7			
		イ 生活道路が安全で便利であると感じる割合	%	58.9	57.1	55.7			

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
・高速道路の工事用道路としての整備が完了している。	・地域住民等に、本事業への協力を要請することにより、事業の進捗がスムーズになるようにしている。	・特になし。

事務事業名	市道後谷連絡線改良事業	所属部	建設部	所属課	建設事業課
-------	-------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 本路線が市道認定されることで、地域住民が高速道路を利用することに対して利便性が高まる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 本路線が開通することによって、緊急車輛等の到着時間が短縮されることもあり、その整備を実施するとは行政として妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象はすべての生活道路利用者であり、これ以上の拡大はない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 単年度完了事業であり、成果の向上余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 単年度完了事業である。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 単年度完了事業である。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ コスト節減に努めておりこれ以上の事業費削減はできない。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 本路線の形状は、既に国土交通省にて施工されており、削減する余地がない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 市道認定され、生活道路利用者が利用できるようになっている。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	・高速道路の工事と調整を図る必要があったが、開通時期及び冬季豪雪の影響により工事工程管理が非常に困難であった。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果																						
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
・平成23年度をもって、工事が完了している。																							